

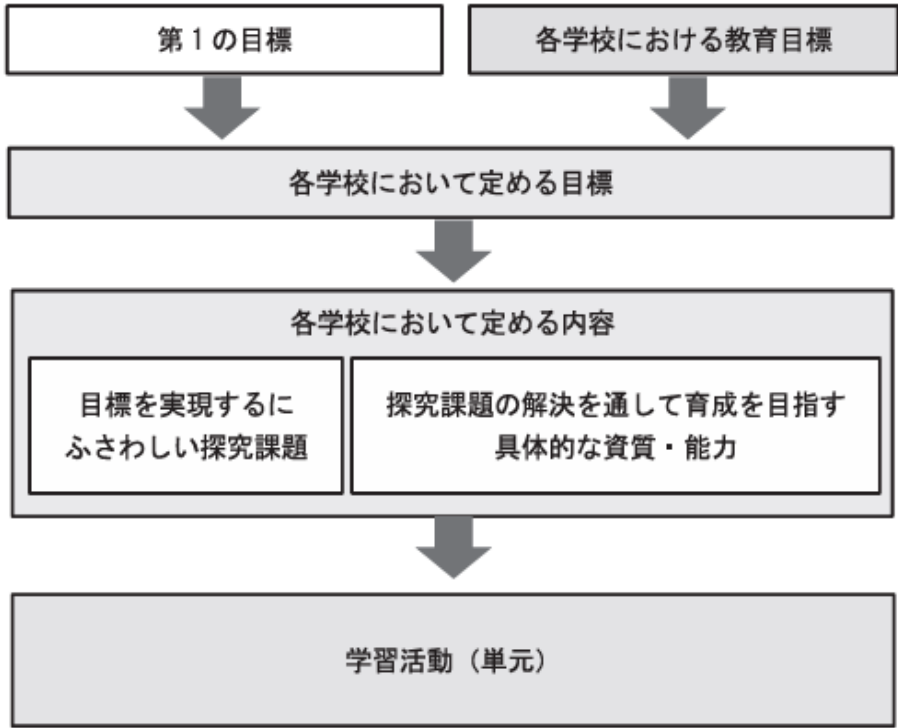
明日からできる

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 【総合的な学習の時間】



東葛飾教育事務所
指導室

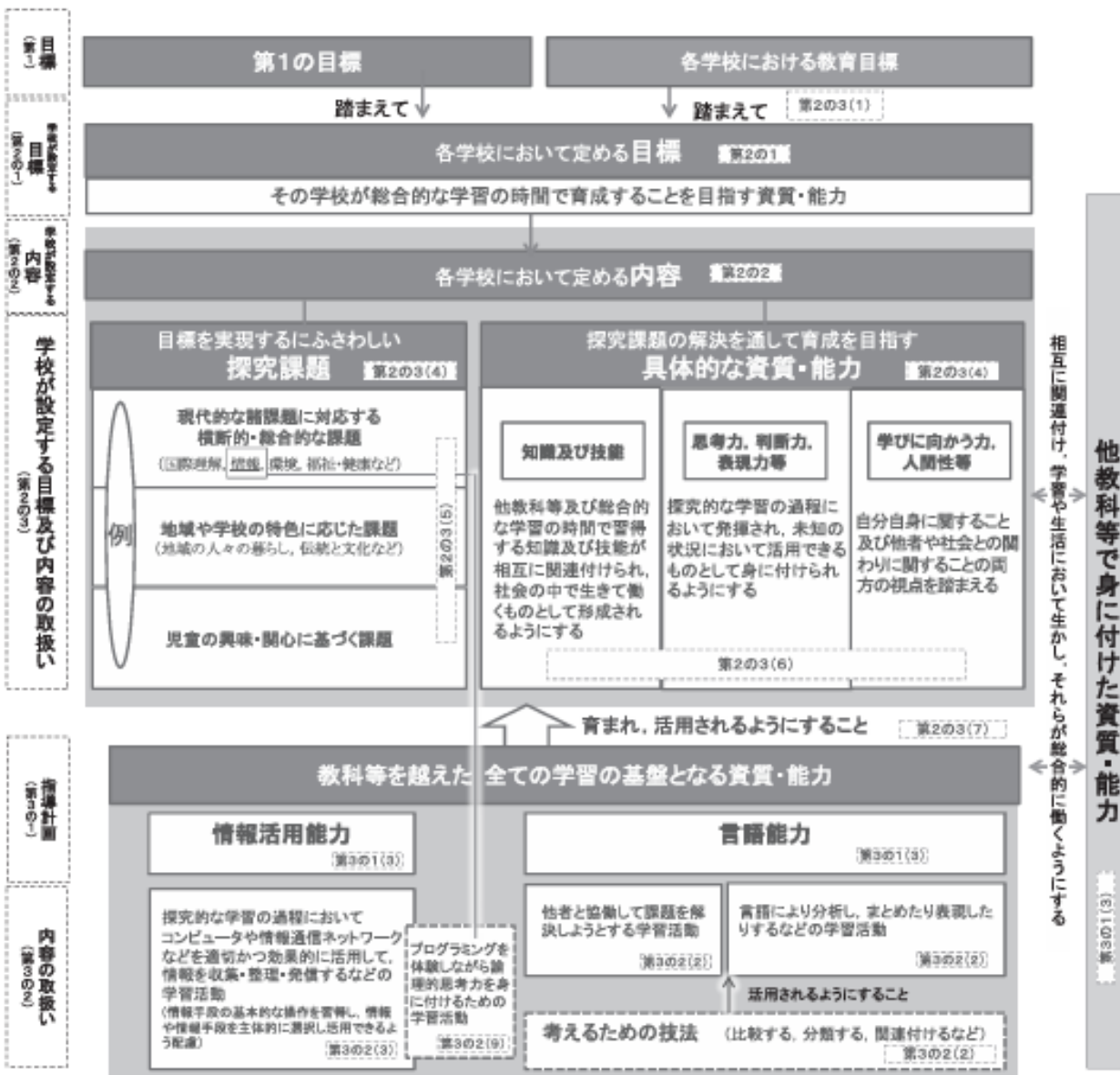
目標と内容と学習活動の関係



学習の在り方

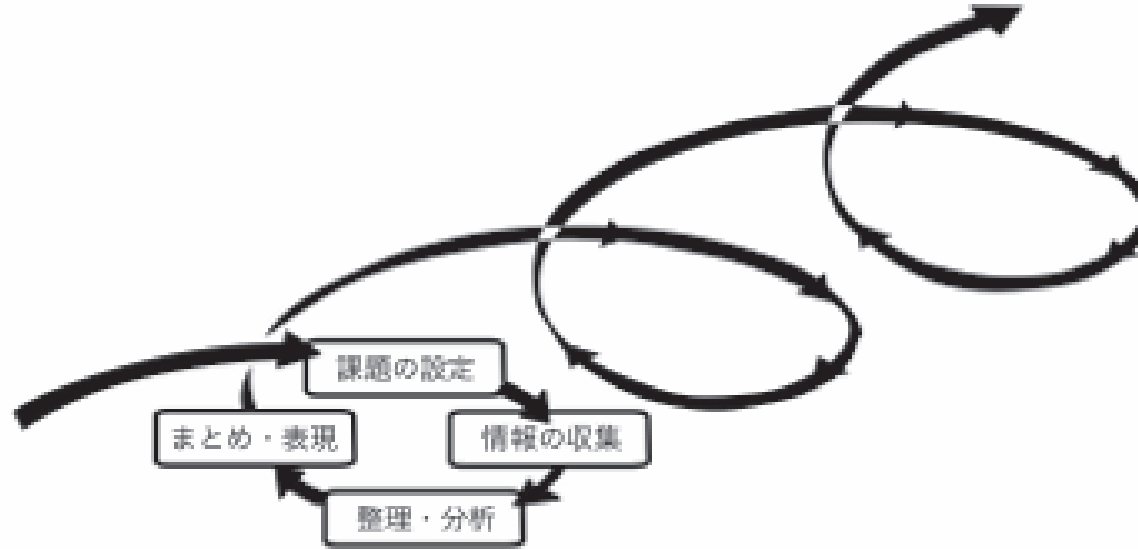
- (1) 探究的な見方・考え方を働かせる。
- (2) 横断的・総合的な学習を行う。
- (3) よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていく。

第5章 総合的な学習の時間の構造イメージ（小学校）



学習の過程

探究的な学習における児童・生徒の学習の姿



すべての学習場面において、個別最適な学び・協働的な学びを行う
個別最適な学び⇔協働的な学び

日常生活や社会に目を向け、児童・生徒が自ら課題を設定する。

探究の過程を経由する。

- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ まとめ・表現

自らの考えや課題が新たに更新され、探究の課題が繰り返される。

学習の過程

この学習過程が、何度も繰り返され、深まっていく。

課題の設定…見出す

- 問題状況の中から課題を発見し、設定する。
- 解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。など

<課題設定の例>

- 体験活動から
- 資料を比較して
- シミュレーションを通して
- 問題を序列化して…体験を通して明らかになった問題を序列化して整理することで、問題を焦点化し、課題を設定する。

情報の収集…自分で取り組む

- 情報収集の手段を選択する。
- 必要な情報を収集し、蓄積する。など

<目的と方法を決める>

観察・実験・見学・調査・探索・追体験など→情報
実体験（実験・観察・測定等） 配布物
インターネット 図書館・図書室
個人インタビュー アンケート調査 など

個別最適な学び・協働的な学び
の一体的な充実

まとめ・表現…まとめあげる

- 相手や目的に応じて、わかりやすくまとめ、表現する。
- 学習の進め方や仕方を振り返り、学習や生活に生かそうとする。など

振り返りカード 自己評価カード 報告会 作文
ポスターセッション パネルディスカッション
新聞 パンフレット プレゼンテーション など

整理・分析…広げ深める

- 問題状況における事実や関係を把握し理解する。
- 多様な情報にある特徴を見つける。
- 課題解決を目指して事象を比較したり、関連付けたりして考える。など

- 児童・生徒自身が情報を吟味し、情報の整理や分析の方法を決定する。
 - ①数値化（グラフ・図・表 他） ②言語化
 - ③思考ツールの活用 ④その他

目標を実現するにふさわしい探究課題

児童生徒の「学びたい」を引き出す課題設定および導入と、明確なゴールの設定が大切！！

○横断的・総合的な課題（現代的な諸課題）

- ・ 国際理解 ・ 情報 ・ 環境 ・ 福祉 ・ 健康
- ・ 資源エネルギー ・ 安全 ・ 食 ・ 科学技術

○地域や学校の特色に応じた課題

- ・ 町づくり ・ 伝統文化 ・ 地域経済 ・ 防災

○児童・生徒の興味・関心に基づく課題

- ・ ものづくり ・ 生命

○職業や自己の将来に関する課題

- ・ 職業 ・ 勤労 （中学校のみ）



- 学校や地域の特色
 - 児童生徒の興味・関心
 - 現代的な諸課題（横断的・総合的な課題）
 - 職業や自己の将来に関する課題（中学校）
- などから探究課題を設定する